

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱（身体虚弱）者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

平成22年6月18日

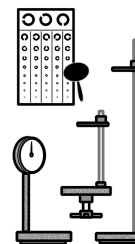
第2号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet



本校の身体測定の紹介



立位での身長測定が難しい場合や、座高計に座れない場合の測定方法をご紹介します。

1 身長…膝が伸転しにくい場合

バインダーなどをあてます



壁に頭をつけて、頭、肩、腰、足のラインをまっすぐにし、メジャーで測定します。

- ① 頭～大転子(股関節の外側のでっぱり)
 - ② 大転子～膝関節
 - ③ 膝関節～足底(くるぶしで区切ることもあります)
- 分けて測定し、①+②+③で身長とします。



↑
くるぶし 膝関節 大転子

2 座高…座高計の腰掛けに座れない場合



壁に頭をつけ、股関節が直角になるように両下肢を支えます。おしりにバインダーなどをあてて測定します。

その日の筋緊張の度合いや側わんの状態などによって、身長や座高の値に前回と“差”がでることもあります。

3 体重…立位がとれない場合

車いす用の体重計
あらかじめ車いすの重量を計っておき、全体の測定値から差し引きします。



立位が不安定な人はフレーム付きの体重計を使用します。



次号は7月16日発行予定です。

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱（身体虚弱）者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

連載 本校の授業の様子から

秋田きらり支援学校の自立活動室

自立活動室Ⅰは**運動的な学習**を行う教室です。

特徴としては、**埋め込み式トランポリン**を設置していることです。

床面と同じ高さなので、すりばいで移動できる子は自分の力で乗り降りができます。

介助する場合もスムーズに行うことができます。



自立活動室Ⅱは、光や音を活用した**感覚的な学習**を行う教室です。

バブルチューブやミラーボールなどが設置されています。

この教室の入ると児童生徒の表情が変わり、生き生きとした明るい表情になっていたのが印象的です。

バブルチューブをじっと見つめています。



点灯時の教室の様子



ご利用ください!!! 肢体不自由支援ガイド

秋田県がWeb上の情報提供として支援の参考にさせていただきたいと、障害別の入門的な手引きを各特別支援学校の協力で作成したものです。「美の国あきたネット」、「秋田きらり支援学校ホームページ <http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>」から閲覧することができます。今後も随時更新する予定です。

また、「勝平養護学校ホームページ <http://www.kirari-s.akita-pref.ed.jp/katuhira/>」では、昨年度までの地域支援情報「キャッチボール」のバックナンバーもご覧いただけます。

肢体不自由支援ガイドの一部をご紹介します。

肢体不自由支援ガイド
特別支援学級新担任の先生へ



登下校について



移動面について



体調管理について



学習面について



排せつについて



支援のポイント

※6項目（ガイドメニュー）で構成されています。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記までご連絡ください。

教頭 初山 節子
地域支援部 松井 智子



住所：〒010-1407

秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirari-s@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573

FAX：018（889）8575

次号は7月16日発行予定です。